船舶事故等調査報告書

平成21年3月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008横第103号	
事故等名	油送船第三雄豊丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年6月6日08時20分ごろ	
発生場所	千葉港市原防波堤灯台から真方位100．5°　4,120m付近 （北緯35°　33′　1″、東経140°　6′　49″）	
事故等調査の経過	調査の概要：平成21年1月13日横浜・地方事故調査官が海難報告書を精査し、船舶所有者から損傷状況等について電話聴取 原因関係者からの意見聴取：意見なし	
事実情報 船種・船名・総トン数 船舶番号（IMO 番号） 船舶所有者等	油送船　第三雄豊丸　499トン 140622 有限会社正豊海運	
船種・船名・総トン数 船舶番号（IMO 番号） 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長　五級海技士（航海）	
負傷者	なし	
損傷	船底塗料の剥離	
事故等の経過	本船は、油600トンを積載し、最大4．5mの喫水をもって、千葉港第4区八幡地区のエム・シー・ターミナル（株）市原事業所岸壁付近を航行中、平成20年6月6日08時20分ごろ、船底に衝撃を感じた。当時、天候は晴れで風力3の南西風が吹き、潮候は下げ潮の中央期であった。 その結果、船底塗料が剥離した。	
分析	気象・海象の関与	なし
	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	判明した事実の解析	本船は、船位の確認を十分に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が航行中、船位の確認を十分に行わなかったため、村田川河口付近の浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	